



1877年創業（当時からの本社）

- 本社所在地：岐阜県大垣市俵町
- 事業概要：各種菓子の企画、製造、販売
- 常時使用する従業員：502名
（グループ全体・2025年3月時点）
- 現在の売上高：91.1億円
（グループ全体・2025年3月期）
- 法人番号：3200001013754
- Web：https://eikodo-hd.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役CEO
鈴木 伝

栄光堂グループ会社理念

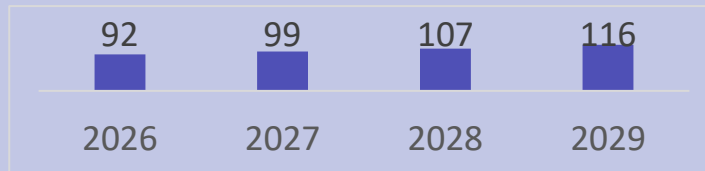
- ・常に進取の精神を持ち、お客様に満足いただける商品を開発、提供します。
- ・お菓子を通じて、明るい豊かな社会づくりに貢献します。

※2ページ目もご参照ください。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

年8～10%程度の成長を目標に、2028年に年間売上100億達成。



課題

- ・目玉となる新商品/主力商品が少ない。
- ・会社によっては、特定の企業に売り上げを依存している。
- ・リテールや海外進出など、新規販売チャネル拡張への出遅れ。
- ・自社ECサイトの売上が伸び悩んでいる。
- ・和菓子店が多いこともあり、若年層へのアプローチが弱い。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 販売チャネルの新規開拓と商品開発
→AM事業や冷凍ケーキを中心に、海外への販売チャネルを拡充する。また、それに向けての商品再構築。
- おみやげものの定番商品となるような強い商品を育成
→インバウンドや観光地で、自社商品のお土産定番化を狙う。
- グループ連携の強化
→各会社が持つ販売チャネルやノウハウを共有して、営業力の底上げを図る。

実施体制

- グループ会社同士の販売チャネルの連携
→「緑の菓」を中心に、和菓子系グループ会社の販路の共有・拡大や、ナレッジの共有
- 各社ブランド力の強化
→ 海外、若年層、おみやげ物、それぞれのターゲットにした商品の開発と、ブランド再構築を図る。
- 主力商品の生産効率化
→ 主力商品の厳選と生産・加工ラインの機械化

代表取締役CEO 鈴木伝 代表メッセージ

栄光堂ホールディングスは、1877年の創業以来、お客様に美味しく、品質が高く、そして楽しいお菓子をお届けしてきました。社歴だけ捉えると老舗の菓子店となりますが、ただ定番商品を繰り返し作ってきた安定した老舗ではありません。

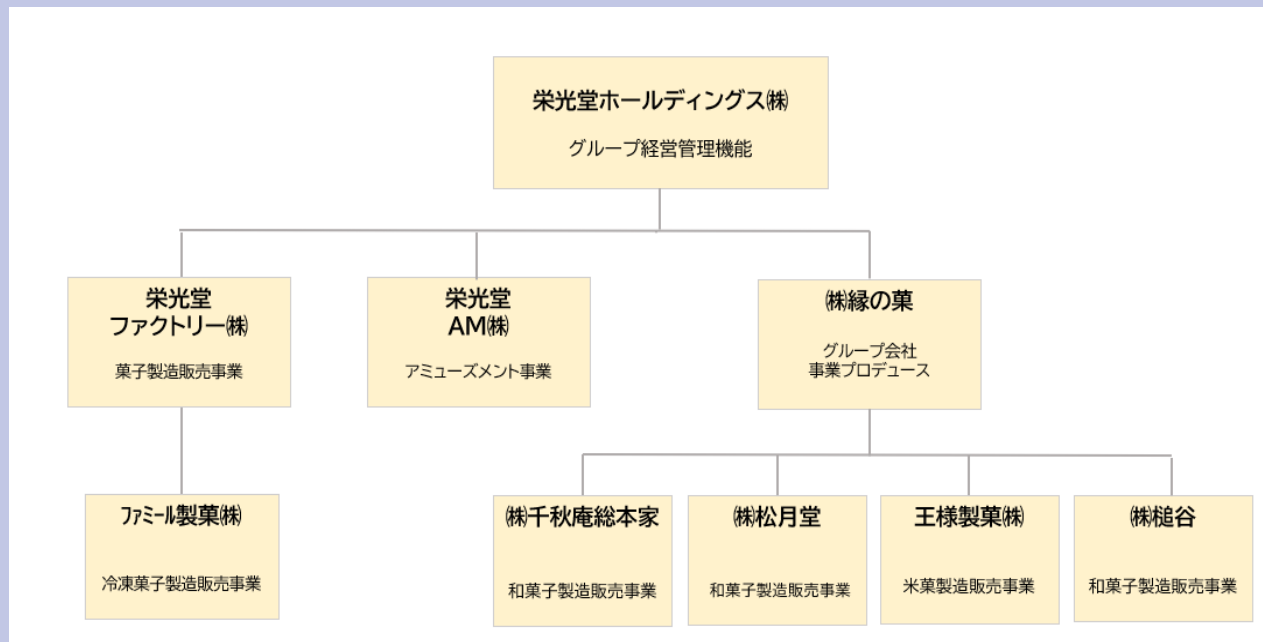
縁日やお祭りで飴を対面販売したのが栄光堂ホールディングスの始まりです。その後はキャラメルにおまけを付けたゼリコを発売し、1930年代にはいち早く海外への輸出を始め、その後もクレーンゲームの景品としてお菓子を販売したりと、常にその時代としては革新的な事業を進める事で会社を成長させて来ました。

栄光堂ホールディングスグループでは、「**お菓子は、こころを満たすもの。**」というテーマを掲げ、“世界中のお客さまにお菓子を食べて笑顔になって頂く”と言う私たちの存在意義を、より強固にして行くための取り組みを続けて参りました。近年、人工知能が色々な分野で驚異的な進化を遂げ、今後さらにお菓子を取り巻く環境は変化して行きます。時代の流れ、流通の変化があってもお客様に支持して頂けるブランド作りが、今当社に求められている最大の課題です。そして、その先頭に立つのが「**いとおかし**」ブランドです。

栄光堂ホールディングスグループでは、アミューズメント関連のお菓子の企画・販売、またキャンディ、キャラメル、チョコレート、クッキー、ゼリー、ケーキ、米菓、和菓子と全てのスイーツ製造ができる数少ない企業となりました。この総合力を活かし、進化のために新たなチャレンジを続ける栄光堂ホールディングスグループに集う社員の力を結集し、お客さま、社員、取引先、そして社会に満足頂ける会社を目指して、革新と挑戦を続けて100億円企業を目指して参ります。



現在 大垣事務所
(岐阜県大垣市浅草)



○法人番号：9013401001986（栄光堂AM（株））、2200001040766（栄光堂ファクトリー（株））、1020001006712（ファミール製菓（株））、
2010401187879（（株）縁の菓）、1440001001051（（株）千秋庵総本家）、9200001023376（（株）松月堂）、9010501004052（王様製菓（株））、
1200001042615（（株）槌谷）